



**FUKUTAKE
EDUCATION AND CULTURE
FOUNDATION**

JUNE 2022





Founder
FUKUTAKE Tetsuhiko

[設立者]

福武哲彦

「文化化」は、即座に収益面でプラスにならないかもしれないが、私は「文化」からはずれような仕事はしたくない。「文化」に投資して、それが回りまわって会社の経営をバックアップするという形になれば、最高の投資ともいえる。直接手に収益につながらなくても、会社の質の向上になる。例えば福武文化財団の構想などは、私のビッグドリームである。
——「福武の心」から



2017-
MATSUURA Toshiaki

[現 理事長]

松浦俊明

文化芸術を通じた社会課題の解決というのは、財団の存在意義そのものだと思います。財団が直接、何かをするわけではないのですが、世の中には、文化芸術を通じて課題を解決しようとしている人がたくさんいて、その活動の後押しをするのが財団の役割です。そういう芽がどんどん出てくるような地域になるように、今後も引き続き波及効果のある活動をどんどん応援していきたいです。
—— 機関誌「FUEKI64号」(2017) 理事長就任記念対談から

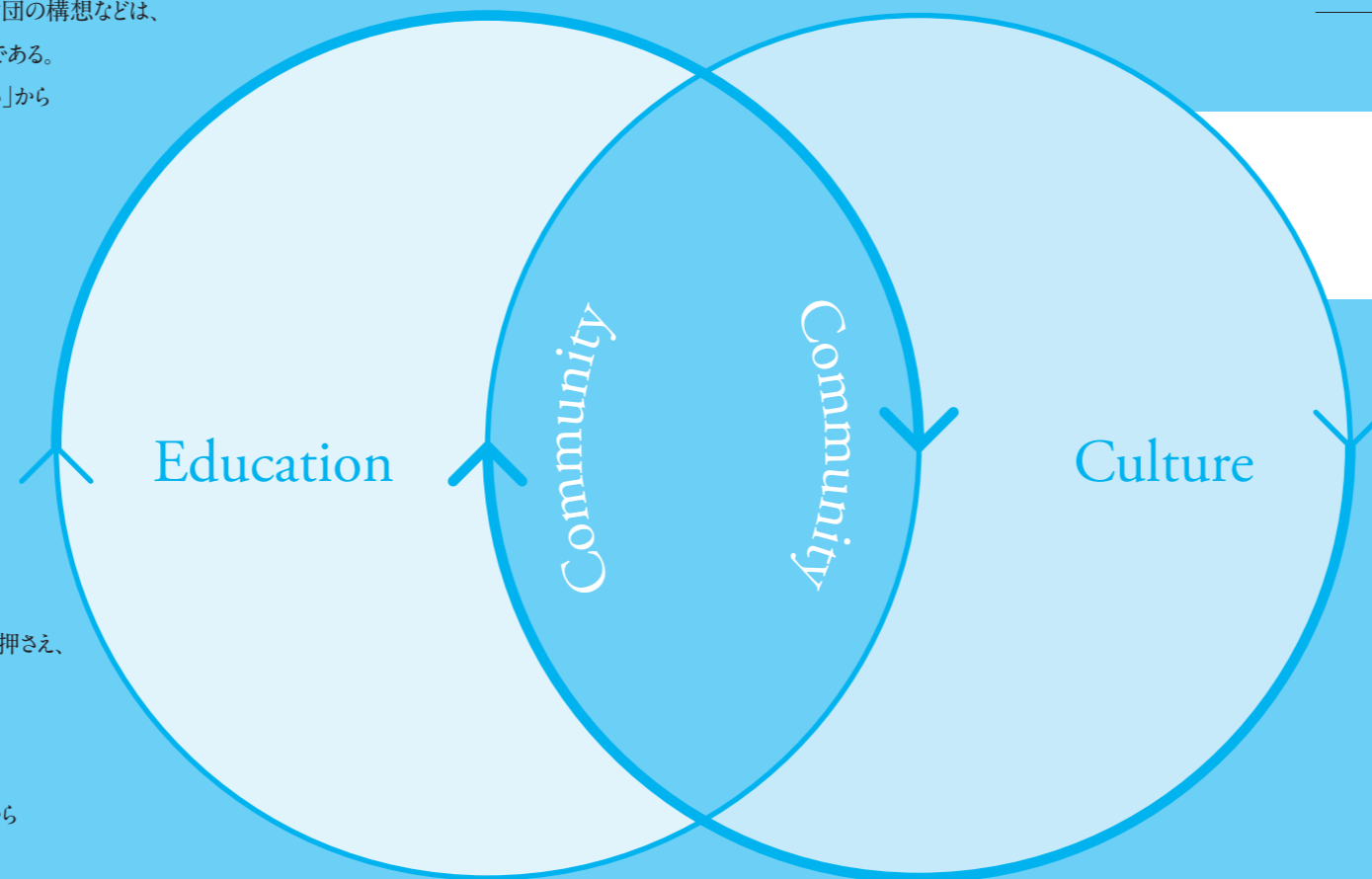


1986-1999
TANIGUCHI Sumio

[初代 理事長]

谷口澄夫

機関誌の題名を「不易」としたのは、教育と文化のいずれにおいても、変遷著しい社会や人の心は十分に認識し、それらに対応することは必要ではありますが、いたずらに社会の変転に右顧左眄することなく、財団の依って立つべき不変の基本理念をしっかりと押さえ、それに従って財団を運営し、諸活動を展開していかなければならないという、自らの戒めを表したものであります。
—— 機関誌「不易」創刊号(1998)ご挨拶文から



ミッション Mission

教育と文化・芸術の両面から、
地域社会にアプローチする。
教育と文化の両面から、
地域社会の課題解決と社会的価値の
創造を図る活動を応援します。



2000-2015
FUKUTAKE Soichiro

[第二 理事長]

福武總一郎

人々を心豊かにするのは経済活動だけではできません。経済の繁栄だけを目的化すると、かえって人々は不幸になると思います。文化、すなわち「人々が幸せになれる、いいコミュニティづくり(お年寄りの笑顔があふれる社会づくり)」のために経済はあるのだと私は思います。
——「瀬戸内海と私」(2010)から



2015-2017
FUKUTAKE Junko

[第三 理事長]

福武純子

そもそも文化というのは、みんなに知ってもらい「いいね」という声がたくさんあがって、それが定着するんだと思います。
—— 機関誌「FUEKI58号」(2015) 理事長就任記念対談から

表彰事業

Award



福武教育文化賞

教育文化の振興による魅力的で豊かな人づくり地域づくりに貢献することを目的とし、高い志を持ち、先駆的で地域への波及効果がある取り組みをしている次世代を担う個人・団体を対象に顕彰します。*2019年度より賞を一本化しました。

これまでの実績

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 福武教育文化賞 | —— 11件 | | |
| 福武哲彦教育賞 | —— 69件 | 谷口澄夫教育奨励賞 | —— 66件 |
| 福武文化賞 | —— 34件 | 福武文化奨励賞 | —— 71件 |

その他の事業



[フォーラム —— ここに生きる、ここで創る]
地域で活動をしている方をパネリストに迎え、講演やトークセッション、参加者による交流会を開催しています。

[and F 教室]
活動団体に共通する課題解決につながる実践的なセミナーを開催しています。

[広報活動]
機関誌「FUEKI」の発行、公式WEBサイトやfacebookによる発信をしています。



福武教育文化振興財団
ウェブサイト



コミュニケーション・マガジン
and F | アンドエフ



教育文化活動助成
成果報告書アーカイブ

公募助成

Support



教育文化活動助成

教育と文化の視点から地域振興を図る活動による人づくり地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待しています。*募集期間は毎年12月1日から1月31日

教育と文化の視点又は融合から地域社会の課題解決と社会的価値の創造を図る活動が対象となります。

1. 教育及び文化芸術による地域社会の課題解決や社会的価値の創造に取り組む活動
2. 教育及び文化芸術による次世代育成に取り組む活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

*これまでに3418件の活動に対して7.1億円の助成をしています。

特色ある活動に対する助成



[先進的事業助成]
新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成しています。

[グローバル化事業助成]
英語力の向上やグローバル意識をもつ子どもたちの育成活動を行う団体等に対して助成しています。

[瀬戸内文化育成助成]
瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成しています。

[福武教育文化賞受賞者フォロー助成]
受賞者が行う質の向上と人づくり・地域づくりの活動に対して助成しています。

2021(R3)年度の実績

表彰

福武教育文化賞 5件

軸原 ヨウスケ | グラフィックデザイナー・COCHAE代表・アートディレクター

竹内 佑宜 | 郷土史家、公益社団法人津山市観光協会顧問

福田 廉之介 | ヴァイオリニスト・一般社団法人The Most理事長

NPO法人灯心会スカイハート灯 理事長 藤原 恒夫

たまのステューデントガイドプログラムチーム 代表 妹尾 均

助成

事業内容	助成件数	助成金額
教育文化活動助成	118件(応募総数:177件)	2,800万円
先進的事業助成	12件	1,612.8万円
グローバル化事業助成	5件	150万円
瀬戸内文化育成助成	2件	60万円
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	4件	120万円
その他助成	1件	30万円
合計	141件	4,772.8万円

先進的事業助成 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座の教育研究、高校と地域の連携・協働(井原市ひとづくり実行委員会、MY OKU HANK、「無色」だった中庭に「色彩」を！チーム、Wakesizu 医療福祉のための未来のために☆プロジェクト、うおうお班、岡山高等学校探究クラス(コメ作り×エシカル消費プロジェクト)、地域の魅力発掘委員会)、学校出前講座事業(公益社団法人岡山県文化連盟)、多様な芸術文化鑑賞支援(「岡山の美術」活性化事業実行委員会、一般社団法人みるを楽しむアートナビ岡山、一般社団法人クニヨシパートナーズ)

グローバル事業助成 英語力向上につながる研修事業(備前まなび塾+英語体験教室実施運営委員会、矢掛町外国語教育推進研究会、和気町グローバル人材育成プロジェクト、たまの☆おもてなし推進委員会)、日中青年交流(岡山県日中教育交流協議会)

瀬戸内文化育成助成 たまの☆おもてなし推進委員会、こども芸術アプローチ実行委員会

福武教育文化賞受賞者フォロー助成 560の夢プロジェクト実行委員会、「老いと演劇」OiBokkeShi、柴田れいこ、備中志事人

その他の事業

- and F 教室
- ・ vol.11 動画づくりの基本の「き」を学ぶ—知的財産って知っていますか？
講師：源文彰(岡山科学技術専門学校 学生課長兼映像音響学科長)
 - ・ vol.12 活動資金の基本の「き」を学ぶ—活動を継続させるためには？
講師：高田佳奈(公益社団法人岡山県文化連盟 主任)
 - ・ vol.13 RESASの基本の「き」を学ぶ—ビックデータを活用してみませんか？
講師：川崎好美(岡山県立倉敷商業高等学校教諭)
 - ・ vol.14 マインドマップの基本の「き」を学ぶ—「考える」ツールを手に入れませんか？
講師：坂ノ上博史(一般社団法人 高梁川流域学校 代表理事)

- 35周年記念事業
- ・ 設立35周年記念誌発刊：民間の助成財団として設立35周年を迎え、過去を整理し、今をみつめ、明日がみえてくるような記念誌を制作。
 - ・ 教育文化活動助成に関するアンケート調査の実施：2008年度から教育文化活動助成を受けられたすべての団体・個人に「アンケート調査」を実施し、集計結果をとりまとめました報告書を作成。

財団について

設立・経緯

1986年 福武哲彦(現株式会社ベネッセホールディングス創業者)の「岡山県の教育・文化の進展に役立ちたい」との願いから財団法人福武教育振興財団を設立

1996年 “既成の文化の枠にとらわれない文化の創造を目指す”財団法人福武文化振興財団を設立

2007年 教育文化振興の両事業をさらに効率化・一体的にするため、2財団を統合し財団法人福武教育文化振興財団としてスタート

2012年 公益財団法人に移行

概要

行政庁 岡山県知事

基本財産 基金235百万円—(株)ベネッセホールディングス株式191.9万株

収入 主に上記株式の配当金

役員(2020年6月現在)

代表理事 理事長 松浦俊明 (株)南方ホールディングス 取締役

代表理事 副理事長 片山浩子 (学)アジアの風 岡山外語学院 理事長

業務執行理事 常任理事 中野行雄 元岡山県備前県民局長

理事 谷一尚 林原美術館 館長

福武美津子 (株)イルグラノ 代表取締役

森田潔 川崎医科大学 特任教授・前岡山大学 学長

監事 佐藤由美子 奥田法律事務所 弁護士

福原一義 福原一義公認会計士事務所 所長・税理士法人福原・嘉崎会計事務所 代表社員

評議員 足羽憲治 岡山県土地開発公社 理事長

大原あかね (公財)大原美術館 代表理事理事長

越宗孝昌 (株)山陽新聞社 相談役

下妻道郎 (株)南方ホールディングス 取締役

竹井千庫 (公財)日本教育公務員弘済会 岡山支部支部長・前岡山県教育委員会 教育長

中島義雄 ナカシマホールディングス(株) 常務取締役

原憲一 RSK山陽放送(株) 取締役会長

松本芳範 (株)ベネッセホールディングス 常勤監査役

守安収 岡山県立美術館 館長

名誉顧問 福武總一郎 (株)ベネッセホールディングス 名誉顧問

公益財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0806

岡山県岡山市北区広瀬町1番5号

(株)ベネッセコーポレーション広瀬町社屋

TEL: 086-221-5254

FAX: 086-232-3190

E-MAIL: eczaidan@fukutake.or.jp

URL: www.fukutake.or.jp



財団ホームページ

みなさまから送っていただいた「岡山の青空」の写真で財団をイメージする青色を表現しました。

